

## 1 テーマ

花いっぱいのある学校づくり

一季節を感じ、仲間とふれあい、学校や地域に愛着をもつ栽培活動を通してー

## 2 ねらい

- ・「花いっぱいのある学校づくり」をテーマに、学校生活に落ち着きと活気をもたせる。
- ・児童と保護者、地域が協力して自慢のできる学校・地域・ふるさとをつくっていかうとする土壌を育てる。
- ・省エネ活動に取り組み、豊かな環境づくりを進めようとする意欲を育てる。
- ・児童や保護者にとってより魅力ある環境整備をめざし、図書館経営や学校農園の活用をすすめる。

## 3 活動内容

## (1) 異学年で進める栽培活

- ・通学団でチームをつくり、一つの花壇を育てる「チームプランターづくり」を実施。

## (2) 学校花壇を花で飾る活動、栽培でエコリサイクルを体感する活動を実施。

- ・学校花壇を学年ごとに区切り、委員会で種から育てた苗を学年の児童が主体的に花壇で育てる。(年 2 回)

- ・生活科で育てた花でしおりを作る活動を行う。

## (3) オレンジガーデニングプロジェクト参加

- ・地域のお年寄りが集う包括支援センターが実施する「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加することで、お年寄りをいたわるとともに、ふるさとを愛する心情の育成をめざした。

## (4) 講師による栽培活動講座

- ・米づくりについて地域講師から話を聞く授業と、稲作の実体験(田植え・稲刈り・脱穀)を実施。

## 4 成果と課題

## (1) 成果

- ・花いっぱい活動と野菜栽培活動では、高学年の児童が異学年とペアになって育てる活動や、チームで花壇をつくる活動を通して、豊かな環境づくりをしたいという児童の意欲が高まった。
- ・花を育てることを通してエコリサイクルについて体感したり、自然と生命を慈しむ心情が育成できたりした。
- ・オレンジガーデニングプロジェクトに参加することで、ふるさとを愛する心情が育った。
- ・図書館司書による本の紹介、読み聞かせ、図書館整備、委員会補助、授業への読書支援などにより、子どもの読書への意欲関心が高まった。保護者アンケートでは「読書環境を整え、読書に親しむ活動を進めているか」の項目で 96% の保護者に「とてもよい・よい」の評価をいただいた。
- ・地域講師の指導のもと、体験学習(田植え、稲刈り、脱穀)を行うことで、食の大切さを実感できた。

## (2) 課題

- ・校内整備員が見つからなかったため、環境整備が十分ではなかった。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校ホームページに事業計画・予算書と特色ある学校づくり事業(チームプランター、オレンジガーデニングプロジェクト、図書集会)についての取組を 10 回以上紹介した。
- ・保護者と校区に配布する学校だよりで、事業についての取組を 5 回以上紹介した。